



来週の投資戦略 (8/8-12)

日経 225 は先走り？

2022年8月7日

小松 徹

注目事項 — 見所

4-6月期決算 — 米中のせいでアナリスト予想を下回る？
8月10日、7月の米消費者物価指数（コア） — 前年比+6.1%？

株式市場見通し

先週、日経 225 が 1.35% 上昇して TOPIX の 0.35% などを大幅に上回った。値嵩株、成長株が上昇して、銀行株などが冴えなかったためだ。個別企業を分析する手法だと今回の日経 225 の上昇にはやや違和感があるが、指数全体を中心に分析するテクニカル・アナリストやストラテジストの多くが早くから 28,000 円乗せを期待していた。違和感があるというのは、例えば、トヨタ自動車（7203）は 4-6 月期の営業利益がアナリスト予想を下回って、株価は週間で 0.65% 下落した。他にも同様の理由で下げた銘柄も目立った。

東証発表のプライム指数の今期予想株価収益率（PE）が先週末で 14.1 倍と、先々週末の 13.7 倍からやや上がったが、これは株価上昇以外に、一株当たり利益（EPS）が 1% 強下方修正されたためである。本日付の日経新聞では業績上方修正 1 兆円に迫るとの見出しで、純利益が会社公表の年間業績計画を上回っていると説明している。ところが、個別企業を分析して株式を評価していると、基準となるのは会社予想ではなく、アナリスト予想のため、企業が修正してもアナリスト予想に届かなければ、評価しにくい点もある。

来週注目の決算は月曜日のソフトバンクグループ（9984、以下 SBG）、東京エレクトロン（8035）、水曜日の第一生命ホールディングス（8750）、金曜日のアシックス（7936）など。アナリストは SBG の 4-6 月期純損益を 91 百億円赤字と予想している。会社は予想を発表していないが、投資環境は厳しい状況が続いている。エレクトロンの同期間の営業利益が前年比 15% 増と予想されているが、過去 6 四半期で最も増益率が低くなる。ただ、予想 PE は 14 倍と過去 3 年間の低位にある。第一生命の同期間の経常利益は前年比 25% 減、年間予想も 13% 減とアナリストは予想している。米国金利を含む金融商品の変動が大きく、今後も予想は難しい。アシックスはアナリストの四半期予想はないが、注目している投資家は多いようだ。大手に負けていた商品が巻き返して、米国で売り上げを伸ばしているのも期待感が強い。

最後に、来週水曜日に米国で 7 月の消費者物価指数が発表される。全体では前年比 +8.7%、コア指数で +6.1% と予想されている。先週金曜日発表の 7 月の米国雇用統計が強く、平均時給も予想の前年比 +5.0% を上回る +5.2% となったことから、米国のインフレはまだまだ余談を許さない。

KPA の投資戦略

ロング（買い）	ショート（売り）
好財務の割安株、今期増益株	高 PB 低位株、高 PE 新興株

(注) ヘッジ・ファンド向け戦略としての一例。投資期間は半年程度を想定。



本レポートは、情報提供の目的のみでご利用者に提供されるものであり、有価証券売買に関する何らかの申し込みまたは勧誘を意図するものではありません。本レポートに記載されるすべての意見および予測は、レポートの日付時点におけるコマツ・ポートフォリオ・アドバイザーズ(以下、KPA)の判断であって、予告なしに変更される場合があります。KPAは本レポートに記載される情報もしくは分析がすべてのご利用者にとって適切であるとの表明を行うものではありません。ご利用者は、投資に伴うリスクとメリットがご自身にとって適切であるかどうか、自己の責任で判断して頂きます。KPAは本レポートについてその正確性、完全性または適時性を保証していません。KPAはいかなる保証も行わないことを明確にしています。KPAは本レポートに記載される情報もしくは分析にご利用者が依拠した結果として被る可能性のある直接的あるいは間接的な損害について責任を負いません。本レポートについての知的財産権はKPAに帰属し、著作権、特許権、商標権その他の知的財産権に関する法令により保護されています。本レポートを印刷した場合も、その印刷物の著作権は、KPAに帰属します。ご利用者は個人的利用を目的としたバックアップのためにのみ印刷、複製することができます。プリントアウトした印刷物や複製したデータを、個人的利用以外の目的で使用することはできません。ご利用者は、本レポートを、有償・無償を問わず、第三者に提供することはできません。また、これを改変、修正することはできません。本規定にご利用者が違反した場合、KPAは金銭的な損害賠償を含む救済手段を請求する権利があります。